

*本資料は、2013年2月18日に英国で発表されたプレスリリースの日本語訳です。

報道関係各位

2013 年 2 月 25 日 ボーダフォン・グループ

ボーダフォン、調査会社 Analysys Mason の調査で M2M ネットワークおよび標準化におけるグローバルリーダーの地位を獲得

ボーダフォン・グループは、英国の調査会社 Analysys Mason が実施した machine-to-machine (M2M)に関するスコアカード調査の 2012 年度版において、M2M ネットワークおよび標準化部門で世界のリーダーとして認められ、業界のトップ企業としての地位を確立したことを発表しました。この調査は M2M 通信サービスプロバイダー(CSP)の世界上位 7 社を対象に実施されたもので、ボーダフォンは総合でも 1 位の座を獲得しています。

この調査では、CSP 7 社の全体的な戦略から研究開発まで、M2M に関連する 6 つの項目から事業のあらゆる側面を検討し、ランク付けが行われました。その中でボーダフォンは M2M 戦略、パートナーシップ、組織、ネットワーク、そして標準化において高い評価を受けました。また、調査報告書では、ボーダフォンの投資が業界の標準化に大きく貢献している点が強調されているとともに、顧客企業に対して様々な SLA(サービス品質保証契約)を提供している点も高く評価されています。

M2M は機器同士をネットワークでつなぎ、相互でコミュニケーションを取ることを可能にすることで、互いで生成されたデータをリアルタイムで情報交換して、様々な制御を自動化することが可能となる技術です。M2M 技術の導入により企業は経営の在り方の見直し及び成長戦略の実現、そして顧客満足度を高めることができるなど、幅広い可能性が広がります。ボーダフォンではこれまで 20 年以上に渡って世界各国の企業をグローバルM2M で結び、BMW や TomTom など、様々な業界の顧客企業の M2M 導入を成功に導いています。

ボーダフォンの M2M 事業部門長、エリック・ブレンナイス(Erik Brenneis)は次のように述べています。 「Analysys Mason の調査によって当社が M2M 業界のトップ企業として位置づけられたことを大変嬉しく思います。 今回の報告書では、当社が M2M のグローバルリーダーとして M2M 業界をけん引し、M2M が将来の事業拡大の可能性を切り拓く上で重要な役割を果たしていることが強調されています」

Analysys Mason の主席アナリストであるスティーブ・ヒルトン(Steve Hilton)氏は今回の結果について次のように述べています。

「2 年連続で、ボーダフォンが様々な業界向けの M2M ソリューションを提供し、極めて高い信頼を得ていることが示されました。ボーダフォンはパートナー開拓や研究開発、高品質のサービス提供に重点的に取り組んでいます。これらの取り組みが M2M ソリューションのサプライヤーとして同社をグローバルリーダーの地位に押し上げた要因となりました」

ボーダフォン M2M について

ボーダフォン M2M は、個別に稼動していた機器やデバイスをネットワークに接続させ、新たな機能やより高度なサービスを人の手を介さず提供することができるように変革させることができる技術です。20 年を超える経験と 250 名の専任スタッフによってサポートされるボーダフォンのグローバル M2M プラットフォームは、グローバル企業のために、地域間にまたがる展開でも集中管理を可能にするだけではなく、高度な制御機能をお求めやすい価格で提供されています。詳細については以下ウェブサイトをご参照ください。https://m2m.vodafone.com/home/japan/

ボーダフォンについて

ボーダフォンは世界最大規模のモバイル通信会社です。携帯電話の加入者数(直接、また関連会社を通じての加入を含む)は約4億300万人(2012年12月31日時点)に上り、現在、5大陸30カ国に子会

社を持ち、全世界に50以上のパートナーネットワークを擁しています。ボーダフォンの詳細については以下ウェブサイトをご参照ください。 www.vodafone.com



本件に関する報道関係者お問合わせ先:

テキスト・ワンハンドレッド・ジャパン株式会社 山本・平出 電話番号:03-5210-1981

vodafone-japan-pr@text100.co.jp